

試験研究（事後）評価整理表

意見整理表3(事後評価)

試験研究機関名 畜産試験場

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	外部評価アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期		
1	・多彩な農業の展開 ・先端技術等を利用した 高度な技術の開発	高能力系統豚造成と維持技術(新世紀ふくしま銘柄豚造成)	高能力系統豚造成と維持技術(新世紀ふくしま銘柄豚造成)	生産性の高い高品質肉豚生産の基礎となる産肉性・繁殖性に優れ、「フクシマ」を超える新系統豚を造成する。 また、新系統豚と組合せ能力の高い中雄系統、止雄系統を選定する。	7世代にわたり各世代毎に高能力の豚を選抜・交配して、より能力の高い新系統豚を作出した。新系統豚に中雄系統2系統、止雄系統2系統を交配し、検定を実施した。フクシマの近交度と繁殖性、産肉性との関連を明らかにし、新系統豚の維持に活用する。	平成9	平成15	A	・病気への抵抗性などはどうでしょうか。
2	・家畜排せつ物の適正 処理の推進 ・有機性資源の循環利 用の促進 ・多彩な農業の展開	家畜ふん尿を活用した 環境保全型自給飼料生 産技術の確立	低コスト堆肥化処理技術の確立	低コストな簡易堆肥舎を開発し、ふん尿処理システムを確立し、低コスト堆肥化処理に関するマニュアルを作成する。	県内畜産農家の実態調査を行い、簡易な堆肥舎を開発するとともに、堆肥化処理方式を検討し、低コスト堆肥化施設マニュアルを作成した。	平成12	平成14	B	・施設の耐久性、これは検討が必要ですね。
3	・多彩な農業の展開 ・先端技術等を利用した 高度な技術の開発	中山間地域の遊休農 地、転作田等を活用し た黒毛和種育成技術の 確立	中山間地域の遊休農地、転作田等 を活用した黒毛和種育成技術の確 立	中山間地域の遊休農地や転作田の活用を図るため、低コスト放牧施設、自給飼料確保、放牧牛育成技術等の開発・実証を行う。	遊休桑園、転作田における集約放牧技術、狭小地での粗飼料生産技術を開発し、マニュアル化した。放牧場産子の発育向上技術を開発し、その産肉性にも問題がないことを実証した。	平成11	平成15	A	・評価は妥当である。